

令和7年度 総社市市民提案型事業

「学校自主防災コンソーシアムSoja」 推進事業

事務局 岡山県立総社高等学校

総社市危機管理課 等

総社市消防本部

各自主防災組織 等

岡山県立大学

総社高校

学校自主防災
コンソーシアム
Soja

総社南高校

総社市立
中学校等

総社市社会福祉協議会

総社市教育委員会

そうじゃ防災士の会 等

令和7年度の推進事業

① キックオフミーティング

② 防災フェア2025

令和7年 8月26日(火)午後 <場所> 総社市民会館

学校自主防災コンソーシアムSoja キックオフミーティング

参加中学生 : 約700名

一般参加者・県立大学等 : 約100名

総社高校・総社南高校がホスト役で運営

まず「学校自主防災コンソーシアム Soja」 の設立経緯等を説明



「学校自主防災コンソーシアムSoja」

2つの原点

① 防災についての学びの中でわかったこと

10年以内 の間隔で
最大の震度「7」の地震
が起こる時代に！

9年

7年

5年

2年

6年

1995

2004

2011

2016

2018

2024

初めての
最大震度7

阪神・淡路大震災

M7.3
震度7

新潟県中越地震

M6.8
震度7

誕生

東日本大震災

M9.0
震度7

熊本地震

M7.3
震度7

北海道胆振東部地震

M6.7
震度7

西日本豪雨災害

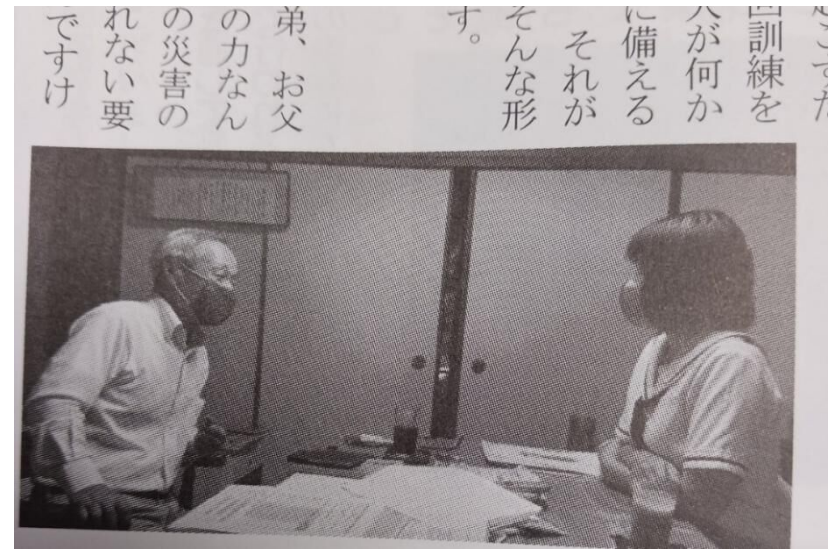
能登半島地震

M7.6
震度7

各地で豪雨災害

② 西日本豪雨災害についての学びからわかったこと

日頃の地道な避難訓練等の防災活動によって、
西日本豪雨災害の最中、アルミニウム工場の爆発
事故が発生したにもかかわらず
死者・負傷者を一人も出さなかった
充実した自主防災組織がこの地域にはある。



西日本豪雨災害発生直後、
高校生を中心としたボランティアが
1000人規模で総社市役所に集まり、
被災地の復興に尽力した経緯がここにはある。

先輩たち・地域の方々のDNA
を絶やすことなく引き継ぎ、
地域の防災・減災に貢献し続ける
ことが自分たちの使命。

→ **設立の原点**



学校自主防災コンソーシアムSoja基調講演

2025年8月26日

岡山大学大学院 環境生命自然科学研究科
都市環境創成学コース 博士後期課程在学
株式会社EnPal 金藤 純子



ワークショップのための 基調講演 ～災害と共に生きる私たち～

株式会社EnPal代表
金藤純子氏



中学生・一般参加者も 参加した 会場全体でのワークショップ





ア

教員ボランティア

高校生ボランティア

準備運営は



地域の防災組織

● 総社市には、
下原砂古自主防災組織
馬渡連合自主防災組織
をはじめ
優れた自主防災組織があります。

地域の防災活動（自主防災組織・防災士の会）のご紹介

● 総社市清音軽部 馬渡連合自主防災組織の
防災委員長であり、そうじゃ防災士の会の
副会長の 佐野裕二さんが作成され、
ご本人所属のコミュニティや 広く総社地域の
防災・減災活動の普及に活用されている資料
をお借りしました。

写真と文章で構成された防災活動の紹介ページ。写真には防災訓練の様子が写っています。

写真と文章で構成された防災活動の紹介ページ。写真には防災訓練の様子が写っています。

西日本豪雨災害
ボランティア
高校生が大活躍
佐野裕二
写真と文章で構成された防災活動の紹介ページ。写真にはボランティア活動の様子が写っています。

そうじゃ防災士たより 第1号
防災士会の活動や取り組みに関する記事。写真には防災士会の活動の様子が写っています。

そうじゃ防災士たより 第2号
防災士会の活動や取り組みに関する記事。写真には防災士会の活動の様子が写っています。

そうじゃ防災士たより 第3号
防災士会の活動や取り組みに関する記事。写真には防災士会の活動の様子が写っています。

防災士たより
防災士会の活動や取り組みに関する記事。写真には防災士会の活動の様子が写っています。

展示台に並べられた防災に関する資料。左端には「総社市 防災ハンドブック」の冊子が目立つ。その右には数冊のパンフレットや冊子が並べられている。

展示等の依頼を通じ、
沢山の関係組織と繋が
ることができた

「学校自主防災コンソーシアムSoja」

の

今後の活動

まとめ

今年度末の3月・岡山県立大学

「探究活動」の報告・今後の展望について

学校自主防災コンソーシアムSoja
防災フェア 2025

防災に関するイベント・ワークショップ等

ご静聴ありがとうございました